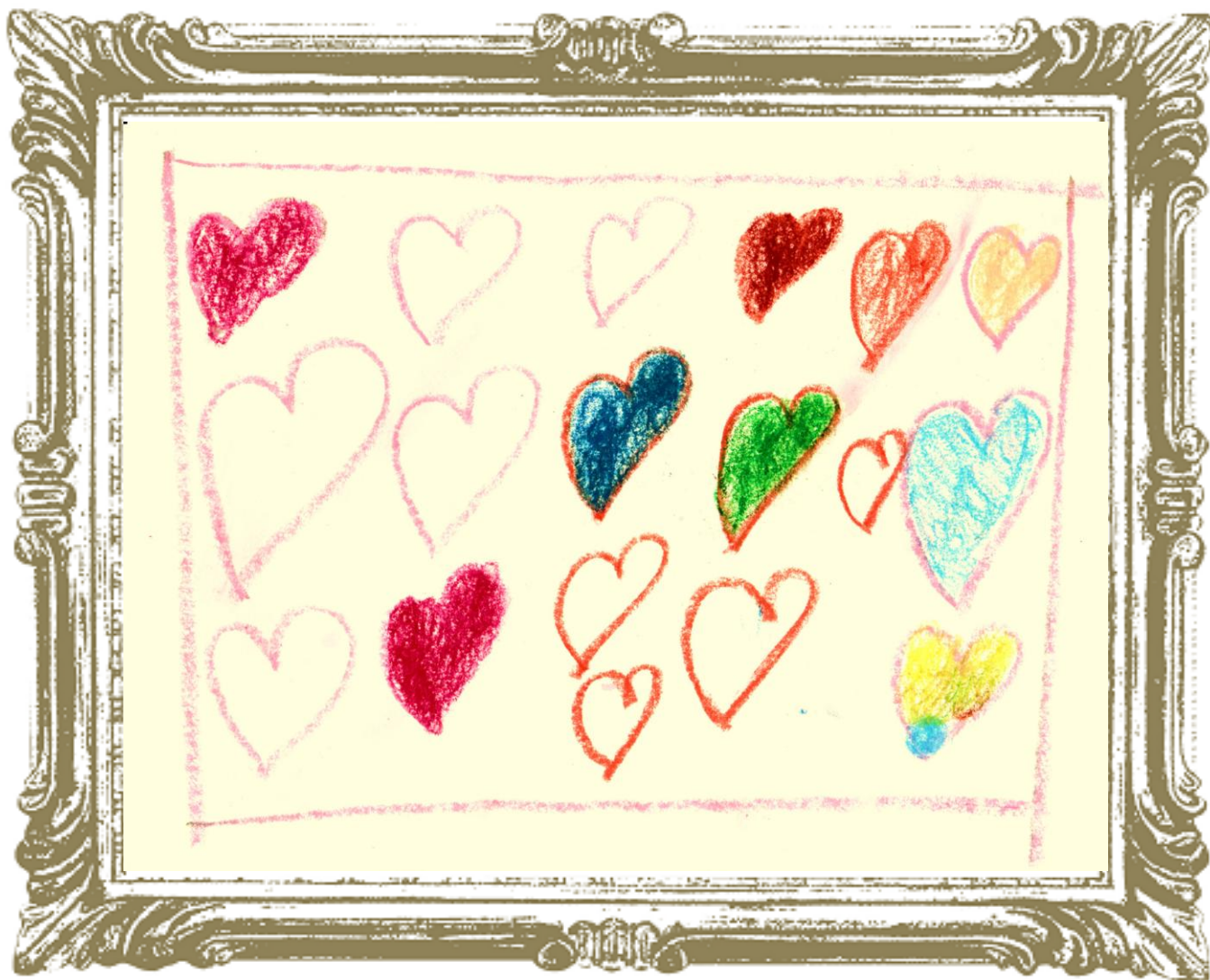


平成 24 年 8 月発行

にじ 虹いろ



リレー題字：廣瀬 博さん 絵：小林慶子さん

地域と共に



多機能型障害者通所支援施設

春の陽

施設長 仁田坂 洋子

春の陽が北杜市にできて、十年余りが経ちます。スタートした時から、地域の方々に支えられてきたという実感が、私にはあります。豆腐を作り始めた頃、利用者さん達と一緒に、一輪車を使いながら近所の家々を歩いて販売をした時期があります。遠くに甲斐駒ヶ岳や八ヶ岳を見ながらの引き売りは、季節折々の景色が移り変わりとて印象的でした。美しい景色を、みんなと楽しみながら歩く道すがら、近所の方々が声をかけてくださいました。「よく頑張っているね!」「お豆腐おいしいよ!」といった言葉をかけて頂くと、利用者さん達は、帰ってから豆腐を作っている人へ喜んで報告します。小さなエピソードが「また頑張

ろう!」と次へと頑張る気持ちに繋がっていくのです。

活動の場としての豆の花は、地域のみなさんが声をかけて頂いたおかげで、JA 梨北日野春支所の空スペースにスタートできた経過がありました。そば打ちのボランティアとして関わってくださる方がいたのでそば屋がスタートすることが可能になりました。最初はそれほど味も安定していなかった豆腐を近所の方が消費者となり買っていたことができたので、とうふ屋として成り立つことができました。農業の仕事があることが働く場の提供者として関わりを少しずつ増やし、結果として農業も軌道に乗り始めました。最初は家庭菜園程度でしたが、現在は米と麦、そして玉ねぎなどの野菜を道の駅などに出荷できる程の実力を持つようになりました。地域の方々と一緒に春の陽のみんなを支えている。そんな地域の応援団があつて、現在の春の陽はできあがっているのだと改めて感じています。

様々な「障がい」を持っている彼らに

は、日々生活していくために、多様な支援が必要です。その「障がい」は彼らを理解することで少なくなり、時には全く感じられなくなる時もあります。私は春の陽を支えてくださっている地域のみなさんの心の中にも、そうした理解を感じることができのです。

5月より、豆の花では「まめ会」という、地域の皆さんと春の陽との交流行事が始まりました。講師をお招きして、一緒に体操などの体を動かすことを行っています。参加者みんなの笑顔と歌声が、豆の花に響きます

今後も皆さんと一緒に楽しく過ごす時間が続くことを願っていますので、是非、「まめ会」に地域の皆さんのご参加をお待ちしております。



紹介します！

山梨県地域生活

定着支援センター

山梨県地域生活定着支援センターは、昨年十一月に事業を開始しました。センター長1名、相談員3名の体制で業務にあたっています。定着支援センターは平成二十一年に制度化された相談機関で、都道府県に1か所設置されています。矯正施設入所者を対象として、退所後の生活における福祉ニーズを把握し、保護観察所と連携をとりながら、支援の体制を整えていくことが主な業務です。

累犯障害者という言葉聞いたことがあるでしょうか？帰る場所がなく、身元引受人もなく、さらに知的障害や精神障害等により福祉ニーズがあるにもかかわらず、情報がなくて支援につながらない。それが故に犯罪を繰り返してしまいう現実があります。主な罪名は窃盗、詐欺です。窃盗といっても、その内容は、

困窮・生活苦からコンビニでおにぎりやチョコレートを手引き。空腹に耐えきれず無銭飲食をして詐欺罪となる。私たち定着支援センターがこのような累犯障害者・累犯高齢者と呼ばれる人たちの生活を支援することは再犯防止にもつながるといわれています。

支援対象者の多くはホームレス生活が長く、受け入れ先の確保と援護の実施。市町村を調整することから始まります。その他、住民票の設定、国民健康保険等の取得、生活保護の申請準備、年金の申請、福祉サービスの申請支援等々、必要に応じて調整していきます。

同時に私たち支援員は、犯罪を繰り返して生きてきた人が、これまでとは違う生き方をその人なりにどう生きていくかということを一緒に考えていく作業をします。これらの支援プロセスの中で、新たな「人」との関係を作ることでも大切なことなのだと感じています。

今後は、矯正施設退所後に一時的な生活の場として自立準備ホームが設置されます。皆様のご協力を賜りたくお願いいたします。

山田真由美
（支援スタッフ）



自立準備ホーム（星の里「楽一」2F）



事務所の様子

暑中お見舞い申し上げます。
熱中症にならぬよう元気にこの夏を
乗り切りたいものです。

星の里では、六〇歳以上の職員が四九
人中一四人と二九%に及びます。仕
事・子育て・介護など様々な経験を携
えパワー全開で現場に立たせてもらっ
ています。現在日本の平均寿命は男性
七〇歳・女性七三歳です。この一四人
の平均年齢は六四歳ですので、まだま
だ奮闘して参ります。

医務チーム

「社会貢献を」とすすめられ
返事をしたものの……。
六十歳の手習い、まごまご
と奮闘中です。



活動型日中活動

「やってみせて、言ってみせて、ほめて
やらねば、人は動かじ」（山本
五十六）を思い出しながら安
全第一で頑張っております。



送迎チーム

私たちのモットーは、安心、
安全の運転。

車内での利用者さんとの会
話は最高に楽しいです。



ふれ愛デイサービス

六十歳を越えおつりの人
生ですが、利用者の皆さん
のお手伝いができると思
えるときはとても幸せで
す。



星の里デイサービス

なかなか難しい仕事で迷うこと
も多い毎日なのですが、やりがい
のある仕事と思い、私たちなりに
頑張っております。



星の里デイサービス

入浴、清掃、洗濯、
食事介助など。かつ
ての仕事とはまったく
違う職種ですが、
利用される方々のお
力になれるよう頑張
っています。



**パワー
全開!!
一星の里14人衆一**

周囲を見渡せば、様々なシルバーベン
チャー企業が、その高い資質を存分に発
揮して活躍しています。
私たちも、八ヶ岳名水会・星の里の一
員として、これからもそれぞれの部署で
下支えをして参ります。

（星の里 小林五張）

このコラムは八ヶ岳名水会で働く、
各事業所の職員が、交代で執筆して
いくコーナーです。

『中ポツ』って何???

障がい者就業・生活支援センター

陽だまり

秋山 由美

「障がい者就業・生活支援センター陽だまり」を、皆さんはご存じでしょうか？

名前を聞いただけでは、どんなところ？何の仕事？（4年前までの私はそうでした・・・）と言うことで、簡単にご紹介させていただきますと思います。

名称の「就業」と「生活」の間に「・（ポツ）」があることから、通称『中ポツ』などと全国的に呼ばれています。就労支援ワーカー2名・生活支援ワーカー1名で構成されており、「就業」は国からの、「生活」は県からの委託事業になります。事務所は北杜市障害者総合支援センター「かざぐるま」内にあります。

『中ポツ』は県内に4ヶ所設置され

ており、各センターで担当エリアを持ち、活動しています。ちなみに『中ポツ 陽だまり』は、峡北・峡西・峡南エリアを担当しています。

業務内容は、障がいのある方で「働きたい」と思っている方、働いているが職場や生活のことで悩みがある方、または、事業主で、障がいのある方の雇用を考えている事業所や障がいのある方を雇用していて問題を抱えて悩んでいる事業所などの相談を受け、個々の内容に応じ、就労支援ワーカーと生活支援ワーカーが一体となって、障がいをお持ちの



方が地域で安心して働き、暮らしていただけるよう支援することが『中ポツ』の仕事になります。働き出す機会や働き続けることに難しさを感じている方々を応援するというのが私たちの仕事です。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

（就労支援ワーカー）



ちよつとひといき

今年も暑い暑い夏がやってきました。何をするのも嫌になってしまいう季節ですが、この時期だからこそ食べられる美味しいものがあります。

私もそうですが、山梨の方にとっては、いつのまにか冷蔵庫に入っているものだと思います、山梨の名産品である「桃」!!

今回は、この季節の楽しみ「桃」についてお話ししたいと思います。

なぜ? 山梨と桃

山梨といえば「桃」というように、全国的にも有名で生産量も日本一。なぜ山梨の桃はこんなに有名になったのでしょうか?

理由はいくつかあるようです。まずはこの恵まれた気候にあります。山梨は晴れの日が多く日照時間が長いこと。桃は太陽の光を浴びれば浴びるほどきれいなピンク色になります。

また、周囲を山々に囲まれた「盆地」であり、朝夕の寒暖の差があることも美味しい桃が出来る理由のひとつのよ

うです。

さらに「盆地」は美味しい水をもたらしてくれます。このような理由が、山梨の桃を美味しいものにしてけているようです。

桃を使って☆

そのまま食べるのが美味しい桃ですが、今回はひと手間加えて、なんにでも合う「桃のコンポート」の作り方を紹介します。とても簡単です。

材料: 桃 (2個) 砂糖 (50g)

レモン汁 (大匙1)

水 (300cc)

① 桃をきれいに洗って切込みを入れたら、半分に割り種を取り除いて皮をむきます(このとき皮は捨てないでください)。



② 鍋に①と他の材料を入れ、キッチンペーパーなどで落とし蓋をして中火で煮込みます。このとき皮も一緒に

入れるときれいなピンク色になります。

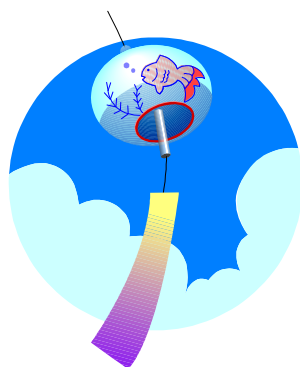


③ 10分から15分ほど煮て、竹串がすーっと入っていけば完成です。

保存は消毒したビンやタッパーに入れて冷蔵庫に入れましょう。また、煮込むときにプラスで白ワインや赤ワインを100cc程加えても美味しく出来上がります。

まだまだ残暑の厳しい日が続きますが、夏バテに気を付けてお過ごしください。

(陽だまり 清水めぐみ)



星の里・春の陽

寄贈していただきました物品です。

山梨県遊技業協同組合様より



車イス 2台

～ありがとうございました～

助成していただいた物品も
寄贈していただいた物品も
大切に使います。感謝の気持ち
でいっぱいです！

星の里

山梨県共同募金様より



全自動洗濯機 2台

衣類乾燥機 2台

ご報告

諸団体からの補助金・助成金に後援会費・
寄付金をプラスして購入した物です。



しまちゃんのこと

川柳コーナー

夏来る 半袖着替え 蚊が注射

蝉見つけ 笑い顔に 鳴き返し

夕立に 打たれて気分 スッキリね

風しきり 天気変わるか 雲動き

心には なくてはならぬ 真実を

しまちゃん・川柳作りが趣味のグループ
ホームにお住まいの方です。



車椅子ありませんか？



「ご不要になった車椅子はありませんか？ 使用可能なものを『菜の花』にご寄付いただけないでしょうか？お近くの方なら取りに行かせていただきます。」

連絡先 0551(32) 0035

菜の花 廣瀬まで

題字を書いて下さった方

・・・・後援会 廣瀬 博さん

甲州市にお住まいの廣瀬 博さん、カワセミの写真家です。八ヶ岳名水会の強力な応援団員です。

表紙絵を描いて下さった方

・・・・小林 慶子さん(クレヨン水彩画)

明るくて、はにかみ屋さんの慶子さん。ハート♡のマークが大好きです！

素敵な題字と絵をありがとうございました！

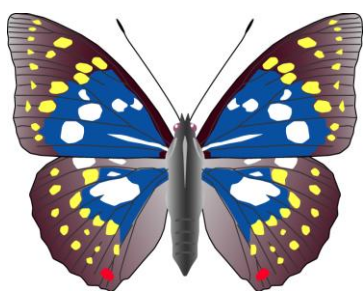
いました！

編集後記

国蝶のオオムラサキをご存知ですか？今年、例年より多くのオオムラサキを見かけます。さすが「オオムラサキセンター」があつて、「オオムラサキの里」を名乗るだけのことはあるなあと、地元長坂町を自慢したくなります。ヒラヒラとはなく、ツイー、ツイーと梢を滑空する様は、単に美しいだけではなく、雄々しくさえあります。正に国蝶を冠するだけのことはあります。

この地域では、オオムラサキを保護するために、沢山の団体や個人が尽力しています。オオムラサキが住むことができる、美しい里山環境があるからこそ、雄々しく飛翔する国蝶オオムラサキが見られるのです。

こうした美しい環境、健やかな精神土壌の地域で八ヶ岳名水会が活動できることを幸せに思います。我々もこの地域にあつて、チャレンジのための、美しい環境作りに、負けずに取り組んでいきたいと願っています。Ⓐ



広報編集委員のメンバー

編集委員長 廣瀬政光(菜の花)

編集委員 坂本ます子 茂木洋輔 相古謙輔

村居奈津美 望月杏沙美(以上星の里)

本むつみ(事務局) 立川 瞳(春の陽) 坂

田和江 小池 翔(菜の花) 清水めぐみ 中

村和念(以上陽だまり)

〆〆〆 編集委員 徳川吉彦(星の里) 鈴木

直子(事務局) 河西悠介(春の陽) 伏見

祐司 穂坂雄太(以上菜の花)

社会福祉法人 八ヶ岳名水会

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間 1095-7

TEL 0551-32-7355

FAX 0551-32-7350

E-mail hoshinosato@coast.ocn.ne.jp

URL <http://www4.ocn.ne.jp/~hosi7355/index2.html>